

### 第3章 フランス史研究におけるオンライン情報の活用

本書(初版)の出版より約10年が経過したが、この間にヨーロッパ各国の図書館や文書館等が管理・運営する歴史研究のためのオンライン情報は、まさに爆発的に増加したといえる。フランス国立図書館(BNF)の電子図書館として著名な「ガリカ」(Gallica)を例に挙げてみよう。同電子図書館は電子化された資料数を随時公開している。それによると、2021年1月現在において、書籍79万点(本書初版の2011年7月時点では29万点。以下同じ)、地図18万点(1万点)、手稿資料18万点(1万点)、画像148万点(34万点)、音声資料5万点(1700点)、雑誌・新聞468万点(81万点)、映像5000点(なし)がオンラインで利用可能であるという。ガリカでは2014年以降、資料のオープンソース化を進めており、画像・テキスト・メタデータとAPI(Application Programming Interface)も公開されている。よって、これらの膨大な資料はガリカのホームページのみならずインターネット上の様々な場所で利用することが可能であり、またパソコンだけではなくスマートフォン用アプリケーションも開発・公開されている。研究書で言及される「まだ見ぬ史料」を求めて、フランスの図書館・文書館にマイクロフィルムによる複写依頼の手紙を書いたかつての研究者からすると、まさに隔世の感といえるであろう。

とはいえ、このガリカに代表されるフランスの積極的な情報化政策にも、紆余曲折が存在していた。1997年10月に設置された当初のガリカでは、「教養人のための仮想図書館」(Bibliothèque virtuelle de l'honnête homme)として、文化的価値が高く厳選された文学作品を中心としたデータベースが目指されていた。しかし、2005年にBNF館長ノエル・ジャンヌネーがGoogleへの対抗姿勢を明確に示したことが契機となり(佐々木勉訳『Googleとの闘い——文化の多様性を守るために』岩波書店、2007年)、著作権の保護期間が終了した資料——これは書籍に限定されない——を網羅的に収めていく方針になったのである。また2008年頃からは他機関や個人への支援もBNFの協理事業の主軸となっている。例えばボルドー市立図書館所蔵のモンテーニュの著者自註の『随想録』やパリ市立歴史図書館所蔵のフローベールの手稿はBNFの協力のもとでデジタル化され、ガリカと地方の電子図書館の双方で閲覧が可能となっている。国際的な取り組みについては、欧州電子図書館「ユーロピアナ」(Europeana)への参加(2005年。正式版の公開2008年11月)や「フランス語圏電子図書館」(RFN)の組織化(2006年提唱。2017年4月に正式版が公開。ベルギー、スイス、カナダ等のみならずハイチやセネガルの国立図書館も参加)などが挙げられよう。既存の資料のオンライン公開のみならず、私蔵資料の収集・公開もインターネットを通じて積極的におこなわれている。例えば、2013年より始まったフランス省間アーカイブズ部の「大収集」(La Grande Collecte)では、第一次世界大戦や女性史に関わる個人所蔵の様々な資料の寄贈や委託管理、デジタル化が進められている。

中央のみならず地方文書館・図書館の風景も、この10年間で大きく様変わりした。かつて県文書館(archives départementales)を始めとする地方施設を賑わせていた系図愛好家たちを見かけることは、今日では大変少なくなったと感じる。これは県文書館の1790年以前の分類でE系列に含まれる戸籍文書(état civil)の多くが、デジタル化・オンライン化されたためであろう。また筆者は近年、ローヌ県文書館(リヨン)で資料調査をおこなったことがあるが、そこでは一般にあまり需要があるとはいえないG系列(在俗聖職者関連文書)すら、かなりのものがオンラインで公開されており驚いた記憶がある。ただし、所蔵資料のデジタル化・オンライン化の度合いは、地方により大きな差があると思われる。よって、こうしたオンライン資料を閲覧・使用する際は、文書館のホームページを熟読してまず公開されている目録

(inventaire/catalogue des manuscrits)に目を通し、所蔵資料の全体像とオンライン公開の状況を把握しておくべきであろう。なお、文書館・図書館はたんに「史料を見に行くところ」だけではない。そこは古くはアンシャン・レージュム期に遡る地方史研究の分厚い成果が蓄積され、アーキヴィスト、様々な国籍・所属の研究者、そして市井の地方史家などが知的交流をおこなう、いわば「知のトポス」である。フランス史研究を志す者には、オンライン化が進む今後もぜひこうした地方施設に実際に足を運んでもらいたいと思う。

さて、今日では様々なオンライン資料が、論文等の学術的文章において頻繁に参照・引用されるようになってきている。歴史学における客観性の確保や剽窃・盗作の回避のために適切な書式で出典を明示しなければならないという原則は、インターネット上の史資料も紙ベースのそれも大きく変わりはない。ただし、具体的な表記方法についてはオンラインならではの問題が存在する。オンライン情報の参照の書式は一般的に「著者・編者名＋題名(イタリックまたはギユメ等で囲む)＋URL (Uniform Resource Locator)＋最終閲覧日」となっているが、URL には変更されて該当するサイトにアクセスできなくなったり、あるいは過度に長くなってしまい見苦しいなどの問題があるからである。この問題については現在、決定的な解決策は存在しておらず、著者の所属・文献の管理団体の併記や、ガリカが採用している ARK (Archival Resource Key) のような永続識別子 (Persistent Identifier) の使用、ウェブアーカイブの活用、あるいは URL ではなく Google 等の検索エンジンの使用を前提としてキーワードのみを記す方法——などの工夫が適宜求められている。文献の具体的な表記方法については、『国立印刷所準拠、組版規則辞典』*Lexique des règles typographiques en usage à l'Imprimerie nationale* (第5版、2002年)や、フランスの多くの大学が PDF で公開しているマニュアルを参照されたい (guide, rédaction, bibliographie 等で検索)。

オンライン時代のフランス史研究のあり方についての展望を簡単に述べておきたい。本稿では写本や書籍など物理媒体の資料でデジタル化・オンライン化されたものをおもな対象としたが、近年ではオンライン上のみ存在し、かつ一定の学術的価値をもつ文献や史料も登場しつつある。フランスの教育機関では、そうした文献を既存の「参考文献」(bibliographie)と区別し、「ウェブグラフィ」(webographie)として管理する考え方も登場している。また、コンピュータ科学の技術を利用しつつ写本の分析をおこなう「デジタル・パレオグラフィ」も、オンライン上で大量の写本画像が利用可能となったことで学術的な実効性を帯びつつあるといえよう (例えば DigiPal を参照)。最後に、フランス国立科学研究センター (CNRS) やリヨン大学等が開発・運営をおこなっている人文社会科学系オープンアクセス・リポジトリである HAL (Hyper Article en Ligne) について紹介しておく。これは研究者自身や図書館員等の代理人によりユーザー登録をおこない、自著の学術論文——出版・非出版は問わない——のセルフアーカイビング・オンライン公開ができるサイトである。外国語による業績のある日本人のフランス史研究者の積極的な登録を期待したい。(山本成生)

## 1 検索エンジン・ポータルサイト・リンク集

### 検索エンジン

ARCHIM (国立文書館所蔵写本の画像データベース)

<http://www2.culture.gouv.fr/documentation/archim/accueil.html>

Archives Nationales <https://www.archives-nationales.culture.gouv.fr/web/guest/nos-liens>

Atelier National de Reproduction des Thèses (博士論文のオンデマンド販売)

<http://www.diffusiontheses.fr>

Catalogue collectif de France (CCFR) <https://ccfr.bnf.fr/portailccfr/jsp/public/index.jsp>

Catalogue en ligne des archives et des manuscrits de l'enseignement supérieur (CALAMES)

<http://www.calames.abes.fr/pub/>

Catalogue general (Bibliothèque nationale) <https://catalogue.bnf.fr/index.do>

Système universitaire de documentation (SUDOC) (フランス大学図書館の所蔵蔵書の横断検索)

<https://corail.sudoc.abes.fr/cbs/xslt/>

these.fr (博士論文の検索) <https://www.theses.fr>

### ポータルサイト

HAL-SHS (Sciences de l'Homme et de la Société) <https://shs.hal.science>

Arcnitecture & Patrimoine <http://www2.culture.gouv.fr/culture/inventai/patrimoine/>

Biblissima <https://portail.biblissima.fr>

Culture.fr (フランス文化・コミュニケーション省) <https://www.culture.gouv.fr>

Droit en ligne (法令関連) <https://www.fr-provencehotel.com/fr/droitonlinecom/>

Europeana (欧州電子図書館「ユーロピアナ」) <https://www.europeana.eu/en>

France Catholique <https://www.france-catholique.fr>

Ménestrel (西洋中世関係のポータルサイト) <http://www.menestrel.fr>

Réseau francophone numérique (RFN) (フランス語圏電子図書館) <http://www.rfnum.org/pages/>

Persée (学術雑誌のポータルサイト) <https://www.persee.fr>

DigiPal (デジタル・パレオグラフィ) <http://www.digipal.eu>

### リンク集

Bases de données (Ministère de la Culture et de la Communication) (インターネット上に公開されている各種データベースのリンク集) <https://www.culture.gouv.fr/Espace-documentation/Bases-de-donnees>

## 2 政府系組織

Centre des monuments nationaux (MONUM) (フランスの国有史跡に関する情報)

<https://www.monuments-nationaux.fr>

Ministère de la Culture et de la Communication (フランス文化・コミュニケーション省)

<https://www.culture.gouv.fr>

Ministère de l'enseignement supérieur et de la recherche (MESR) (フランス高等教育・研究省)

<https://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/fr>

在日フランス大使館 <https://jp.ambafrance.org>

在フランス日本大使館 [https://www.fr.emb-japan.go.jp/itprtop\\_fr/index.html](https://www.fr.emb-japan.go.jp/itprtop_fr/index.html)

在京都フランス総領事館 <https://jp.ambafrance.org/Consulat-general-de-France-a-Kyoto-13380>

### 3 図書館・文書館・データベース

#### 図書館

Bibliothèque Interuniversitaire de la Sorbonne <http://www.bis-sorbonne.fr/biu/>

Bibliothèque nationale de France (BNF) <https://www.bnf.fr/fr>

Bibliothèque universitaire des langues et civilisations (BULAC) <https://catalogue.bulac.fr>

Gallica (フランス国立図書館の電子図書館) <https://gallica.bnf.fr/>

Les Bibliothèques Virtuelles Humanistes (BVH) <http://www.bvh.univ-tours.fr>

#### 文書館

Archives de France (フランス公文書館局) <https://francearchives.gouv.fr>

Archives nationales (フランス国立文書館のポータルサイト。目録検索も可能)

<https://www.archives-nationales.culture.gouv.fr>

Archives nationales d'outre-mer (ANOM) <http://www.archivesnationales.culture.gouv.fr/anom/fr/>

Archives nationales du monde du travail <https://www.archives-nationales-travail.culture.gouv.fr>

#### データベース

Banque d'images (BnF) <https://images.bnf.fr/#/home/>

Catalogue des collections des musées de France (JOCONDE)

<https://www.culture.fr/Moteur-Collections>

Exposition virtuelles (BnF) (ヴァーチャル博物館) <http://expositions.bnf.fr>

La Grande Collecte <https://www.lagrandecollecte.fr>

Traitement électronique des manuscrits et des archives (TELMA) <https://telma.hypotheses.org>

Trésor de la Langue Française informatisé (TLFi) (各種専門フランス語辞書のオンライン検索)

<http://atilf.atilf.fr>

### 4 大学・研究機関

Académie des Beaux-Arts <https://www.academiedesbeauxarts.fr>

Centre de ressources et d'information sur les multimédias pour renseignement supérieur (CERIMES)

<http://www.cerimes.fr>

Collège de France <https://salamandre.college-de-france.fr>

Cultures et Environnements. Préhistoire, Antiquité, Moyen Âge (CEPAM) <https://www.cepam.cnrs.fr>  
Centre d'études supérieures de civilisation médiévales <https://cescm.labo.univ-poitiers.fr>  
Centre d'études supérieures de la Renaissance <https://cesr.univ-tours.fr>  
Centre d'histoire culturelle des Sociétés contemporaines (CHCSC) <https://www.chcsc.uvsq.fr>  
Centre d'histoire sociales des mondes contemporains (CHS) <https://histoire-sociale.cnrs.fr>  
Centre de recherches historiques (CRH) <http://crh.ehess.fr>  
Centre Michel de Boïard (CRAHAM) <https://www.craham.cnrs.fr>  
Centre national de la recherche scientifique (CNRS) <https://www.cnrs.fr/fr>  
**L'**Écoles des hautes études en science sociales (EHESS) <https://www.ehess.fr/fr>  
École nationale des chartes <https://www.chartes.psl.eu>  
École Pratique des Hautes Études <https://www.ephe.psl.eu>  
Histoire et Sources des Mondes Antiques (HISOMA) <https://www.hisoma.mom.fr>  
Institut de France <https://www.institutdefrance.fr>  
Institut d'histoire de droit <https://www.ihd.cnrs.fr>  
Institut d'histoire de la Révolution française (IHRF) <https://ihrf.pantheonsorbonne.fr>  
Institut d'histoire moderne et contemporaine (IHMC) <https://ihmc.ens.psl.eu>  
Institut de recherche en musicologie (IREMUS) <https://www.iremus.cnrs.fr>  
Institut de recherches et d'histoire des textes (IRHT) <https://www.irht.cnrs.fr>  
Institut de recherche sur la Renaissance, l'Age Classique et les Lumières <https://ircl.cnrs.fr>  
Laboratoire de recherche historique Rhône-Alpes <http://larhra.ish-lyon.cnrs.fr>

## 5 学会・学術雑誌

### 学会など

Association des archivistes français <https://www.archivistes.org>  
Association française pour l'histoire de la justice (AFHJ) <https://afhj.fr>  
Comité des travaux historiques et scientifiques (CTHS) <https://cths.fr>  
Société de l'histoire de France (SHF) <http://www.shfrance.org>  
Société des Études Latines <https://www.societedesetudeslatines.com>  
Société des historiens médiévistes de l'enseignement supérieur public <https://www.shmesp.fr>  
Société d'études historiques Révolutionnaire et Imperiales (SEHRI) <http://assosehri.fr>  
Société d'Histoire du Droit (SHD) <http://www.societehistoiredudroit.com>  
Société d'histoire du théâtre <https://sht.asso.fr>  
Société Française d'Archéologie <http://www.sf-archeologie.net>  
Société française de musicologie <http://sfmusicologie.fr>  
Société française d'histoire d'outre-mer (SFHOM) <https://www.sfhom.com>

## 学術雑誌

(ポータルサイト)

Persée <https://www.persee.fr>

OpenEdition <https://journals.openedition.org>

Cairn.info <https://www.cairn-int.info>

(個別)

Annales, Histoire, Sciences Sociales <http://Annales.ehess.fr>

Cahiers de civilisation médiévale <https://ccm.cnrs.fr>

Cahiers de Fanjeaux <http://www.cahiersdefanjeaux.com>

Revue d'histoire moderne et contemporaine <http://www.rhmc.fr>

Revue du Nord <https://revue-du-nord.univ-lille.fr>

## 6 マスメディア

出版社・書店

amazon (フランス版) <https://www.amazon.fr>

Armand Colin <https://www.dunod.com/marque/armand-colin>

Les Éditions du Cerf <https://www.editionsducerf.fr>

Fayard <https://www.fayard.fr>

Fnac <https://www.fnac.com>

Gallimard <http://www.gallimard.fr/#>

Larousse <https://www.larousse.fr>

Éditions Picard <http://www.editions-picard.com>

Presses Universitaires de France (PUF) <https://www.puf.com>

新聞

Charlie Hebdo <https://charliehebdo.fr>

Courrier International <https://www.courrierinternational.com>

La Tribune <https://www.latribune.fr>

Le Figaro <https://www.lefigaro.fr>

Le Parisien <https://www.leparisien.fr>

Le Monde <https://www.lemonde.fr>

Libération <https://www.liberation.fr>

テレビ局

TF 1 <https://www.tf1.fr>

France 2 <https://www.france.tv/france-2/>

France 3 <https://www.france.tv/france-3/>

France 4 <https://www.france.tv/france-4/>

France 5 <https://www.france.tv/france-5/>

La Croix <http://www.la-croix.com>

Les Echos <https://www.lesechos.fr>

Ouest-France <https://www.ouest-france.fr>

## ラジオ局

(ポータルサイト)

Radio France <https://www.radiofrance.com>

(個別)

France Culture <https://www.radiofrance.fr/franceculture>

France Info <https://www.francetvinfo.fr>

France Inter <https://www.franceinter.fr/franceinter>

(すべて 2023 年 4 月 15 日接続確認)

山本成生